

**2013年3月期**  
**(第2四半期累計期間)**  
**連結決算説明資料**

双葉電子工業株式会社

2012年11月9日

# 目次

- 経営施策の状況 P 1 ~ 4
- 連結決算のポイント P 5
- 業績ダイジェスト P 6 ~ 7
- 営業利益増減分析 P 8
- セグメント別業績状況 P 9 ~12
- 四半期別業績推移 P13 ~14
- 貸借対照表の概要 P15
- キャッシュ・フロー P16
- 業績見通し P17 ~19

# 経営施策の状況

## 事業拡大施策

### 電子部品事業

- 有機ELディスプレイの通信機器市場や車載市場への拡販
- 乾燥剤「OleDry-F」を利用したフィルム型有機ELディスプレイの開発
- タッチパネルの用途拡大に向けた車載市場への拡販
- 蛍光表示管の売上げ拡大に向けたCIG化(ドライバー内蔵)の提案



有機ELディスプレイ  
(スマートウォッチ)



乾燥剤「OleDry-F」を利用した  
フィルム型有機ELディスプレイ



車載用CIG蛍光表示管

# 経営施策の状況

## 事業拡大施策

### 電子機器事業

- 双方向通信システムを搭載したホビー用プロポのラインアップ拡充  
(ハイエンドの車用プロポ「4PK-SuperR」)
- 画像伝送モジュール(FEJシリーズ)およびバイク用リモコンの開発推進
- 模型用ガソリンエンジンの開発推進



ハイエンドの車用プロポ  
(4PK-SuperR)



画像伝送モジュール  
(FEJシリーズ)



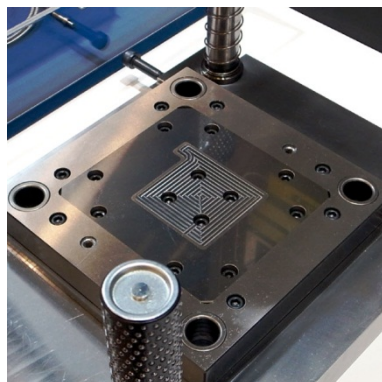
模型用ガソリンエンジン

# 経営施策の状況

## 事業拡大施策

### 生産器材事業

- エコカー用の電池・モーターの製造に使用される高精度ダイセットの拡販
- タイ・ベトナム子会社の生産能力の増強に向けた工場拡張を決定
- アセアン地区の新たな生産・販売拠点として、インドネシアへの進出を決定
- 材料調達から見直した新規格プレジジョンプレートの市場投入により幅広い顧客要求に対応



高精度ダイセット



タイ・ベトナム子会社

**Futaba** フライスフリープレートに  
**価格 納期 品質**  
3拍子揃った Lシリーズを追加しました!  
Lシリーズの特長

- ☆ 価格最大46%ダウン! (※)
- ☆ 午前中のご注文で当日出荷!
- ☆ FISによる厳格な管理体制!

※ 旧規格(旧Futaba)と比較し、新規格(新Futaba)の価格差を指します。価格差はご注文の数量・仕様により異なります。

追加材質

LSS (JIS SS400 相当)	※ 左記材質は丸シートの発行いたしません。
LSC (JIS S50C 相当)	送料・プロセス等はFISにより厳密に管理しており従事するので安心してご利用いただけます。
LKD (JIS SKD11 相当)	※ 丸シートが必要な場合は、従来の「SS400」「S50C」「SKD11」をご注文下さい。

価格例

新規格プレジジョンプレート

# 経営施策の状況

継続的な  
収益改善施策

## 電子部品事業

- 台湾子会社への部品工程の移管と薄膜ラインの新設
- タッチパネル製造の後工程をフィリピン子会社に新設
- 有機ELの後工程を中国子会社に新設

## 電子機器事業

- 材料・部品の海外調達の推進による原価力の向上
- 模型用エンジンの海外生産品目の拡大

## 生産器材事業

- 生産地の見直しによる国内生産体制の効率化の推進
- 中国製造子会社3拠点の連携による生産体制の最適化

# 連結決算のポイント

## ■ 連結売上高

主に国内・アジア市場の売上げが増加したことから、前年同期に対して3億円増収

## ■ 連結営業利益

売上げは増加したものの、新規事業参入に伴う初期コストの影響から、前年同期に対して6億円減益

## ■ 連結当期純利益

営業利益の減少に加え、円高の影響による外貨建資産・負債の為替差損6億円を営業外費用に計上したことなどにより、13億円の最終損失

# 業績ダイジェスト(1)

(金額単位:百万円)

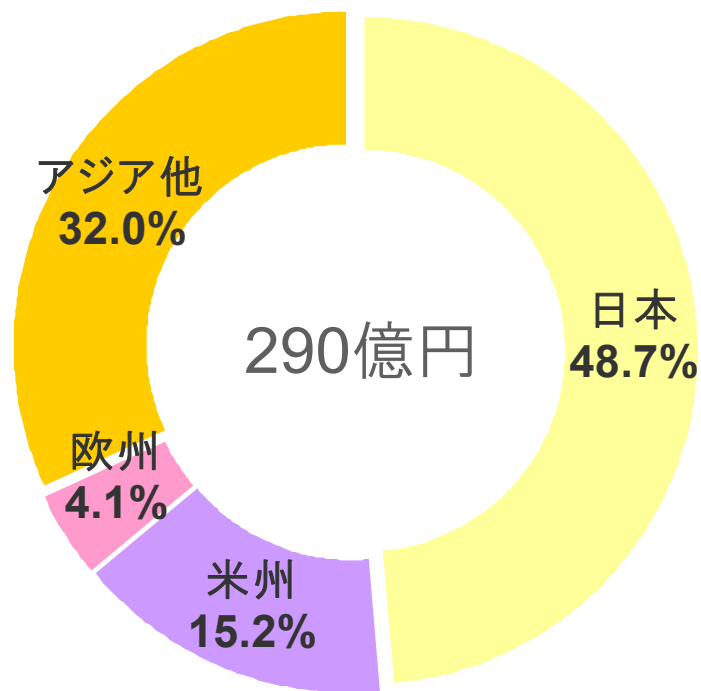
	'11年度		'12年度		'12年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	29,022	29,440	30,300	<b>29,328</b>	<b>▲971</b>	96.8%	306	101.1%	<b>▲111</b>	99.6%
営業利益 利益率(%)	446 (1.5)	604 (2.1)	<b>▲150</b> (▲0.5)	<b>▲143</b> (▲0.5)	6	—	<b>▲589</b>	—	<b>▲747</b>	—
(為替差損益)	(▲707)	(582)	(▲540)	(▲617)	<b>▲77</b>	—	89	—	<b>▲1,200</b>	—
経常利益 利益率(%)	<b>▲43</b> (▲0.2)	1,111 (3.8)	<b>▲300</b> (▲1.0)	<b>▲379</b> (▲1.3)	<b>▲79</b>	—	<b>▲335</b>	—	<b>▲1,490</b>	—
当期純利益 利益率(%)	<b>▲692</b> (▲2.4)	<b>▲110</b> (▲0.4)	<b>▲1,000</b> (▲3.3)	<b>▲1,262</b> (▲4.3)	<b>▲262</b>	—	<b>▲570</b>	—	<b>▲1,152</b>	—
設備投資	1,823	1,962	4,450	<b>2,677</b>	<b>▲1,772</b>	60.2%	854	146.9%	714	136.4%
減価償却費	1,716	1,751	1,550	<b>1,501</b>	<b>▲48</b>	96.8%	<b>▲215</b>	87.5%	<b>▲250</b>	85.7%
研究開発費	998	926	1,100	<b>1,112</b>	12	101.2%	114	111.4%	186	120.1%
国内	1,551人	1,542人	1,691人	<b>1,609人</b>	<b>▲82人</b>		58人		67人	
海外	4,081人	3,974人	4,153人	<b>4,031人</b>	<b>▲122人</b>		<b>▲50人</b>		57人	
人員	5,632人	5,516人	5,844人	<b>5,640人</b>	<b>▲204人</b>		8人		124人	
平均為替レート	80円/\$	79円/\$	79円/\$	<b>79円/\$</b>	0円/\$		<b>▲1円/\$</b>		0円/\$	



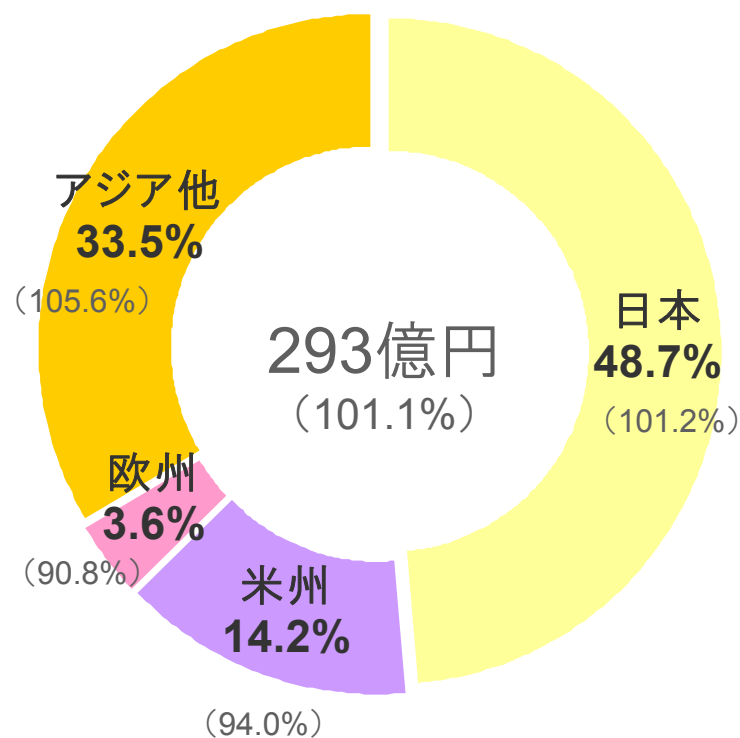
# 業績ダイジェスト(2)

## 市場地域別売上高構成比

※( )内は前年同期比



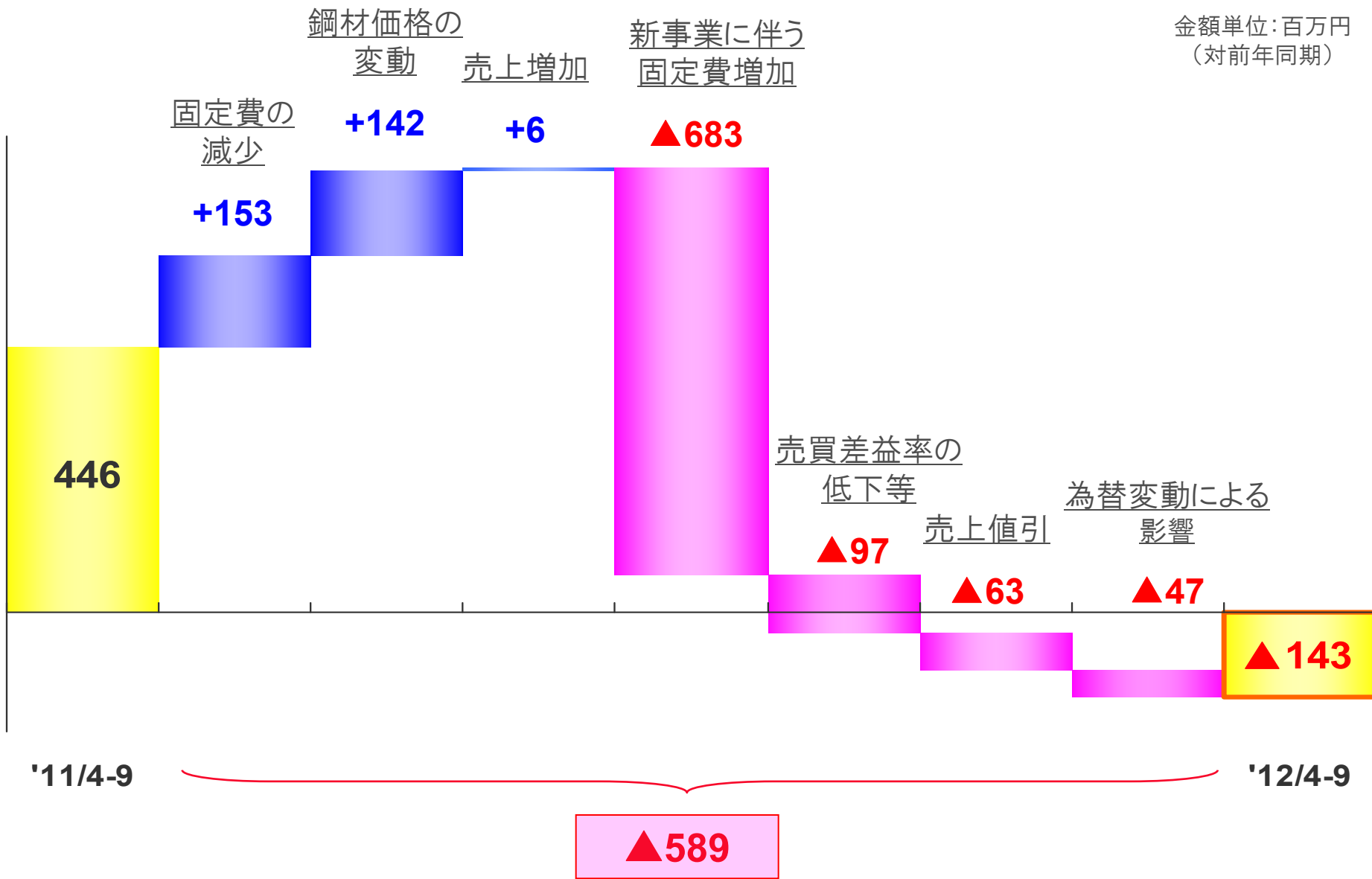
'11/4-9



'12/4-9

# 営業利益増減分析

金額単位：百万円  
(対前年同期)



# セグメント別業績状況 (電子部品事業)

(金額単位:百万円)

	'11年度		'12年度		'12年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	11,094	10,958	11,600	<b>11,496</b>	▲103	99.1%	402	103.6%	537	104.9%
営業利益	▲457	▲227	▲1,100	<b>▲962</b>	137	—	▲504	—	▲734	—
利益率(%)	(▲4.1)	(▲2.1)	(▲9.5)	<b>(▲8.4)</b>						
設備投資	825	1,077	2,350	<b>1,715</b>	▲634	73.0%	890	207.9%	637	159.2%
減価償却費	742	747	650	<b>641</b>	▲8	98.7%	▲101	86.4%	▲106	85.8%
研究開発費	626	521	700	<b>759</b>	59	108.5%	132	121.2%	238	145.7%

- 蛍光表示管は、国内市場では車載用途向けが順調に推移したものの、海外市場において車載用途向けや映像用途向けが伸び悩み、売上げは前年同期をやや下回る。
- 蛍光表示管モジュールは、海外・国内市場共に車載用途向けが売上げを伸ばしたものの、主力であるPOS用途向けが低迷したことから、売上げは前年同期を下回る。
- 当期より本格的な販売を開始した有機ELディスプレイは、通信機器用途に加え、車載用途をはじめとした新たな市場の開拓に向け、拡販活動を展開し、売上げはほぼ計画通り達成した。

# セグメント別業績状況（電子機器事業）

（金額単位：百万円）

	'11年度		'12年度		'12年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	3,728	3,928	3,700	<b>3,522</b>	▲177	95.2%	▲206	94.5%	▲405	89.7%
営業利益	391	447	350	<b>344</b>	▲5	98.3%	▲47	87.9%	▲103	76.9%
利益率(%)	(10.5)	(11.4)	(9.5)	<b>(9.8)</b>						
設備投資	119	95	200	<b>38</b>	▲161	19.4%	▲80	32.6%	▲56	40.8%
減価償却費	151	157	150	<b>135</b>	▲14	90.4%	▲15	89.5%	▲21	86.1%
研究開発費	185	203	200	<b>165</b>	▲34	82.7%	▲20	89.0%	▲38	81.1%

- ホビー用ラジコン機器は、新製品を市場投入したものの、海外・国内市場共に個人消費の低迷により、売上げは前年同期を下回る。
- 産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けや農業関連向けのテレコントロール製品が順調に推移したことから、売上げは前年同期を上回る。

# セグメント別業績状況 (生産器材事業)

(金額単位:百万円)

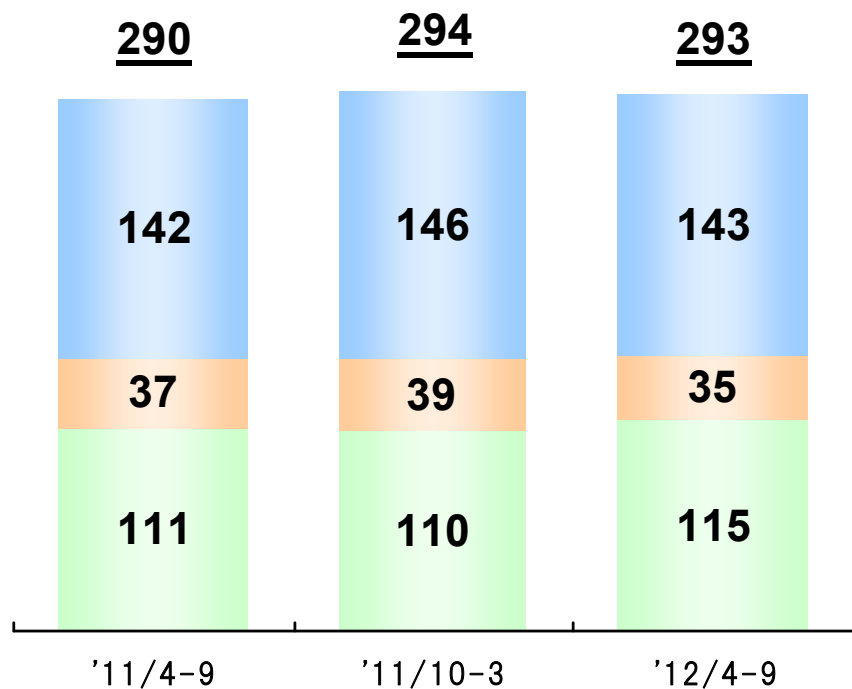
	'11年度		'12年度		'12年度 計画比		前年同期比(上期対比)		前期比(下期対比)	
	4-9(実績)	10-3(実績)	4-9(計画)	4-9(実績)	増減額	比率	増減額	比率	増減額	比率
売上高	14,199	14,552	15,000	<b>14,310</b>	▲689	95.4%	110	100.8%	▲242	98.3%
営業利益	512	385	600	<b>475</b>	▲124	79.2%	▲36	92.8%	90	123.4%
利益率(%)	(3.6)	(2.6)	(4.0)	<b>(3.3)</b>						
設備投資	878	789	1,900	<b>922</b>	▲977	48.6%	44	105.0%	133	116.9%
減価償却費	822	846	750	<b>724</b>	▲25	96.6%	▲98	88.1%	▲122	85.5%
研究開発費	186	201	200	<b>188</b>	▲11	94.0%	1	100.8%	▲13	93.4%

- 国内では、エコカー用の電池・モーターなどの環境対応製品向けに注力したものの、円高の長期化などによる各メーカーの海外調達、海外移転の影響から、売上げは前年同期をわずかに下回る。
- 海外では、中国市場が低迷したものの、韓国市場では自動車用途を中心に順調に推移したことから、売上げは前年同期を上回る。

# セグメント別業績状況

## 売上高

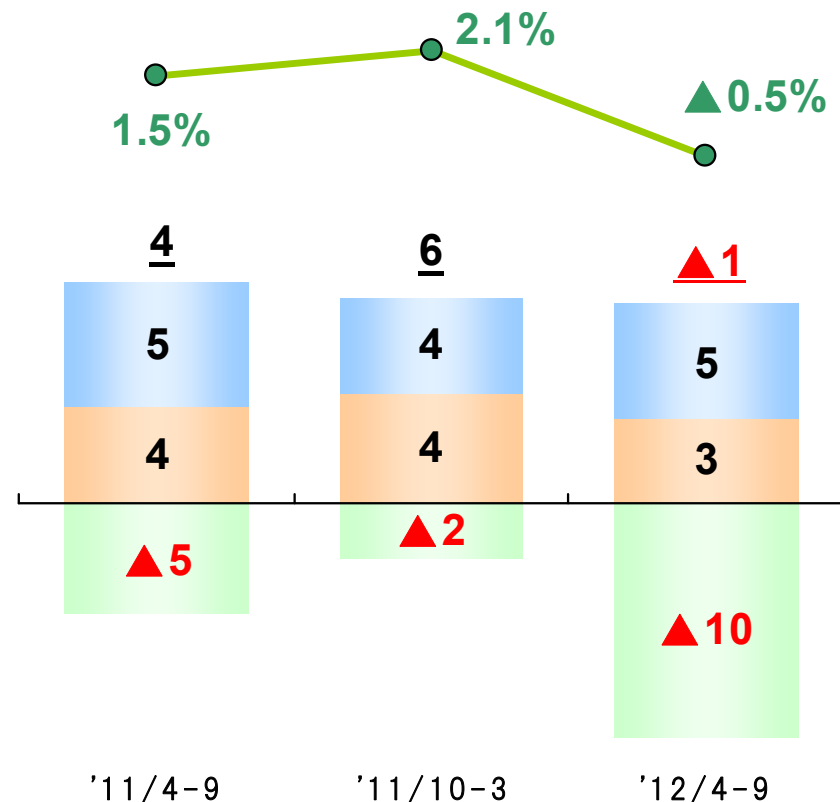
金額単位：億円



電子部品 電子機器 生産器材

## 営業利益

金額単位：億円



電子部品 電子機器 生産器材 営業利益率

# 四半期別業績推移 (1)

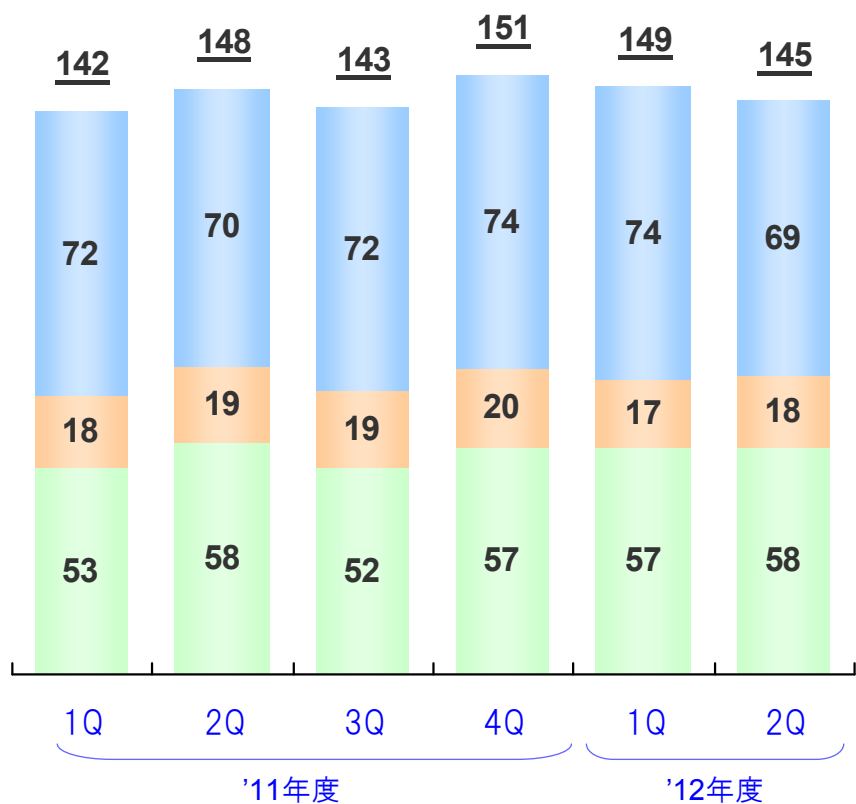
(金額単位:百万円)

	'11年度				'12年度		前年同期比		直前四半期比	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	比率	増減額	比率
電子部品	5,255	5,839	5,226	5,732	5,743	<b>5,753</b>	<b>▲85</b>	98.5%	9	100.2%
電子機器	1,789	1,939	1,916	2,012	1,734	<b>1,788</b>	<b>▲151</b>	92.2%	54	103.1%
生産器材	7,180	7,019	7,178	7,373	7,378	<b>6,932</b>	<b>▲87</b>	98.7%	<b>▲446</b>	94.0%
売上高	14,224	14,797	14,321	15,119	14,855	<b>14,472</b>	<b>▲324</b>	97.8%	<b>▲382</b>	97.4%
電子部品 利益率(%)	<b>▲334</b> (▲6.4)	<b>▲123</b> (▲2.1)	<b>▲65</b> (▲1.3)	<b>▲161</b> (▲2.8)	<b>▲705</b> (▲12.3)	<b>▲257</b> (▲4.5)	<b>▲134</b>	—	447	—
電子機器 利益率(%)	190 (10.6)	201 (10.4)	219 (11.5)	227 (11.3)	155 (9.0)	<b>188</b> (10.6)	<b>▲12</b>	93.7%	33	121.5%
生産器材 利益率(%)	324 (4.5)	187 (2.7)	220 (3.1)	164 (2.2)	260 (3.5)	<b>215</b> (3.1)	27	114.5%	<b>▲45</b>	82.6%
営業利益 利益率(%)	181 (1.3)	264 (1.8)	373 (2.6)	230 (1.5)	<b>▲289</b> (▲1.9)	<b>146</b> (1.0)	<b>▲117</b>	55.4%	435	—
(為替差損益)	<b>(▲369)</b>	<b>(▲337)</b>	(125)	(457)	<b>(▲343)</b>	<b>(▲274)</b>	(62)	—	(68)	—
経常利益 利益率(%)	116 (0.8)	<b>▲159</b> (▲1.1)	652 (4.6)	458 (3.0)	<b>▲472</b> (▲3.2)	<b>93</b> (0.6)	252	—	565	—
四半期純利益 利益率(%)	<b>▲76</b> (▲0.5)	<b>▲615</b> (▲4.2)	460 (3.2)	<b>▲571</b> (▲3.8)	<b>▲708</b> (▲4.8)	<b>▲554</b> (▲3.8)	60	—	153	—
平均為替レート	82円/\$	78円/\$	78円/\$	79円/\$	80円/\$	<b>78円/\$</b>	0円/\$		<b>▲2円/\$</b>	
期末為替レート	81円/\$	77円/\$	78円/\$	82円/\$	79円/\$	<b>78円/\$</b>	1円/\$		<b>▲1円/\$</b>	

# 四半期別業績推移 (2)

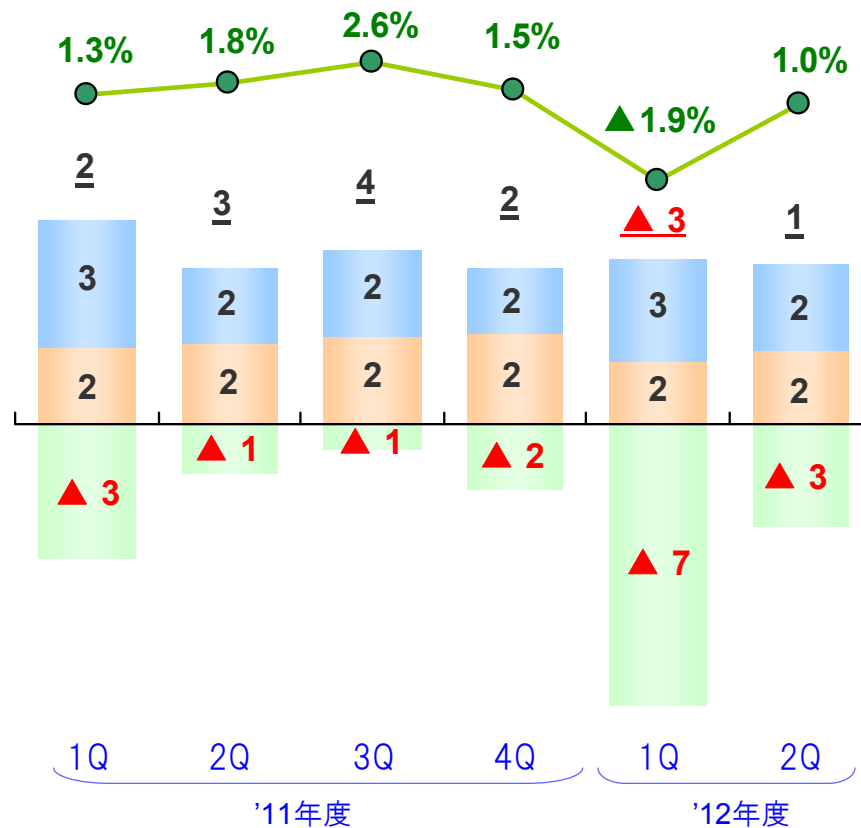
## 売上高

金額単位: 億円



## 営業利益

金額単位: 億円



電子部品 電子機器 生産器材

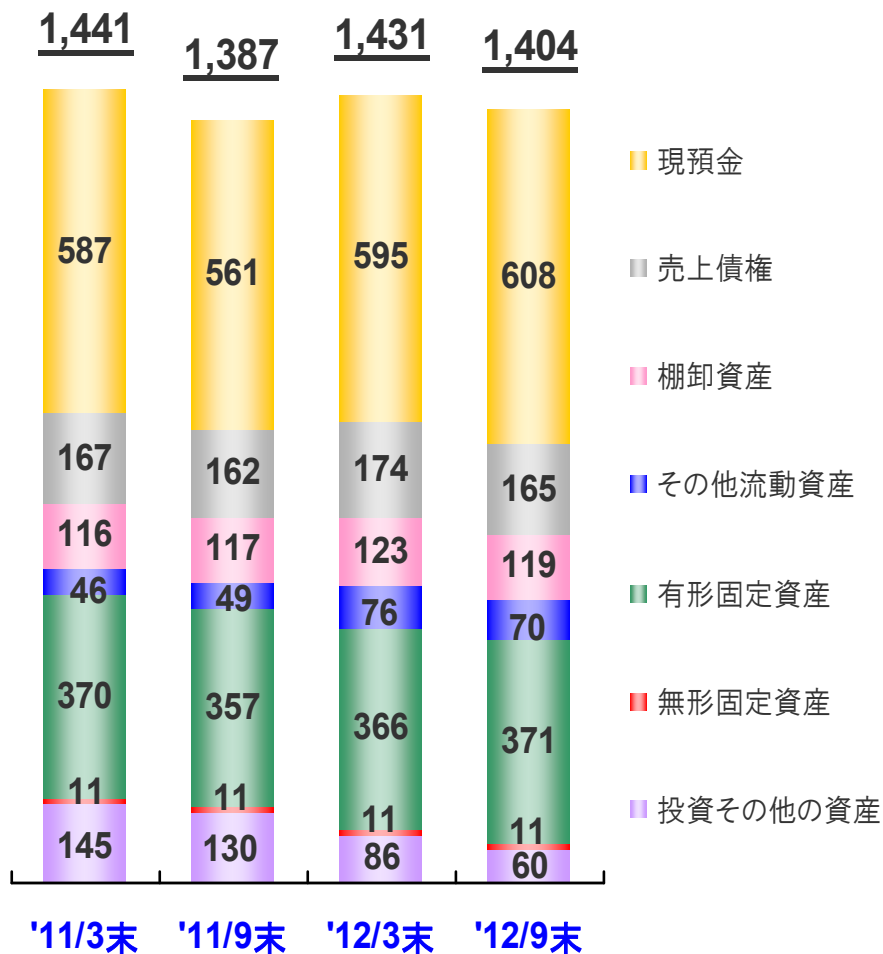
電子部品 電子機器 生産器材 営業利益率



# 貸借対照表の概要

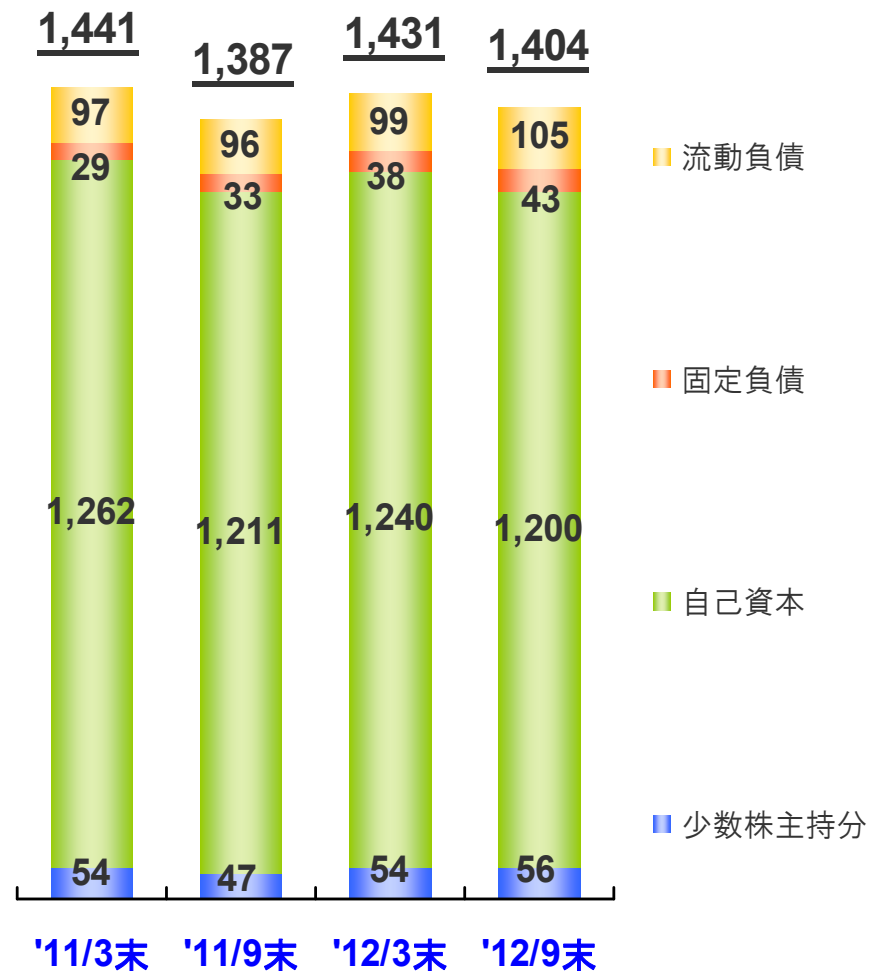
## 資産

金額単位：億円



## 負債・純資産

金額単位：億円



# キャッシュ・フロー

(金額単位:百万円)

	'11年度 ( '11/4-9)	'12年度 ( '12/4-9)	増減額	'11年度 (通期)
税金等調整前四半期(当期)純利益	▲120	▲718	▲597	162
減価償却費	1,716	1,501	▲215	3,467
運転資金の増減				
売上債権	170	706	536	▲636
棚卸資産	▲699	234	934	▲693
仕入債務	906	352	▲553	324
その他	573	406	▲166	2,127
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,545	2,483	▲62	4,751
定期預金の増減	1,634	▲366	▲2,001	1,070
有形固定資産の取得・売却	▲1,273	▲1,925	▲651	▲3,037
投資有価証券の取得・売却	▲728	600	1,328	1,630
その他	▲12	162	175	2,932
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲379	▲1,529	▲1,150	2,596
短期借入金の増減	—	348	348	—
長期借入金の増減	▲18	▲18	0	▲36
リース債務の返済	▲140	▲14	126	▲151
配当金の支払	▲533	▲533	0	▲1,066
少数株主への配当金の支払	▲161	▲173	▲12	▲161
その他	▲0	269	269	▲0
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲853	▲121	732	▲1,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲1,676	▲701		▲616
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	256	6		256
現金及び現金同等物				
期首残高	35,574	41,146		35,574
期末残高	35,467	41,284		41,146
増減額	▲106	137		5,572

# 業績見通し(1)

(金額単位:百万円)

	'11年度			'12年度			前期比	
	4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電子部品	11,094	10,958	22,053	11,496	<b>11,003</b>	<b>22,500</b>	446	102.0%
電子機器	3,728	3,928	7,657	3,522	<b>3,477</b>	<b>7,000</b>	<b>▲657</b>	91.4%
生産器材	14,199	14,552	28,752	14,310	<b>14,689</b>	<b>29,000</b>	247	100.9%
売上高	29,022	29,440	58,462	29,328	<b>29,171</b>	<b>58,500</b>	37	100.1%
電子部品 利益率(%)	<b>▲457</b> (▲4.1)	<b>▲227</b> (▲2.1)	<b>▲685</b> (▲3.1)	<b>▲962</b> (▲8.4)	<b>▲737</b> (▲6.7)	<b>▲1,700</b> (▲7.6)	<b>▲1,014</b>	—
電子機器 利益率(%)	391 (10.5)	447 (11.4)	838 (11.0)	344 (9.8)	<b>455</b> (13.1)	<b>800</b> (11.4)	<b>▲38</b>	95.4%
生産器材 利益率(%)	512 (3.6)	385 (2.6)	897 (3.1)	475 (3.3)	<b>524</b> (3.6)	<b>1,000</b> (3.4)	102	111.4%
営業利益 利益率(%)	446 (1.5)	604 (2.1)	1,050 (1.8)	<b>▲143</b> (▲0.5)	<b>243</b> (0.8)	<b>100</b> (0.2)	<b>▲950</b>	9.5%
(為替差損益)	<b>(▲707)</b>	(582)	<b>(▲124)</b>	<b>(▲617)</b>	<b>(33)</b>	<b>(▲584)</b>	<b>(▲459)</b>	—
経常利益 利益率(%)	<b>▲43</b> (▲0.2)	1,111 (3.8)	1,067 (1.8)	<b>▲379</b> (▲1.3)	<b>679</b> (2.3)	<b>300</b> (0.5)	<b>▲767</b>	28.1%
当期純利益 利益率(%)	<b>▲692</b> (▲2.4)	<b>▲110</b> (▲0.4)	<b>▲803</b> (▲1.4)	<b>▲1,262</b> (▲4.3)	<b>12</b> (0.0)	<b>▲1,250</b> (▲2.1)	<b>▲446</b>	—
平均為替レート	80円/\$	79円/\$	79円/\$	79円/\$	78円/\$	79円/\$	0円/\$	

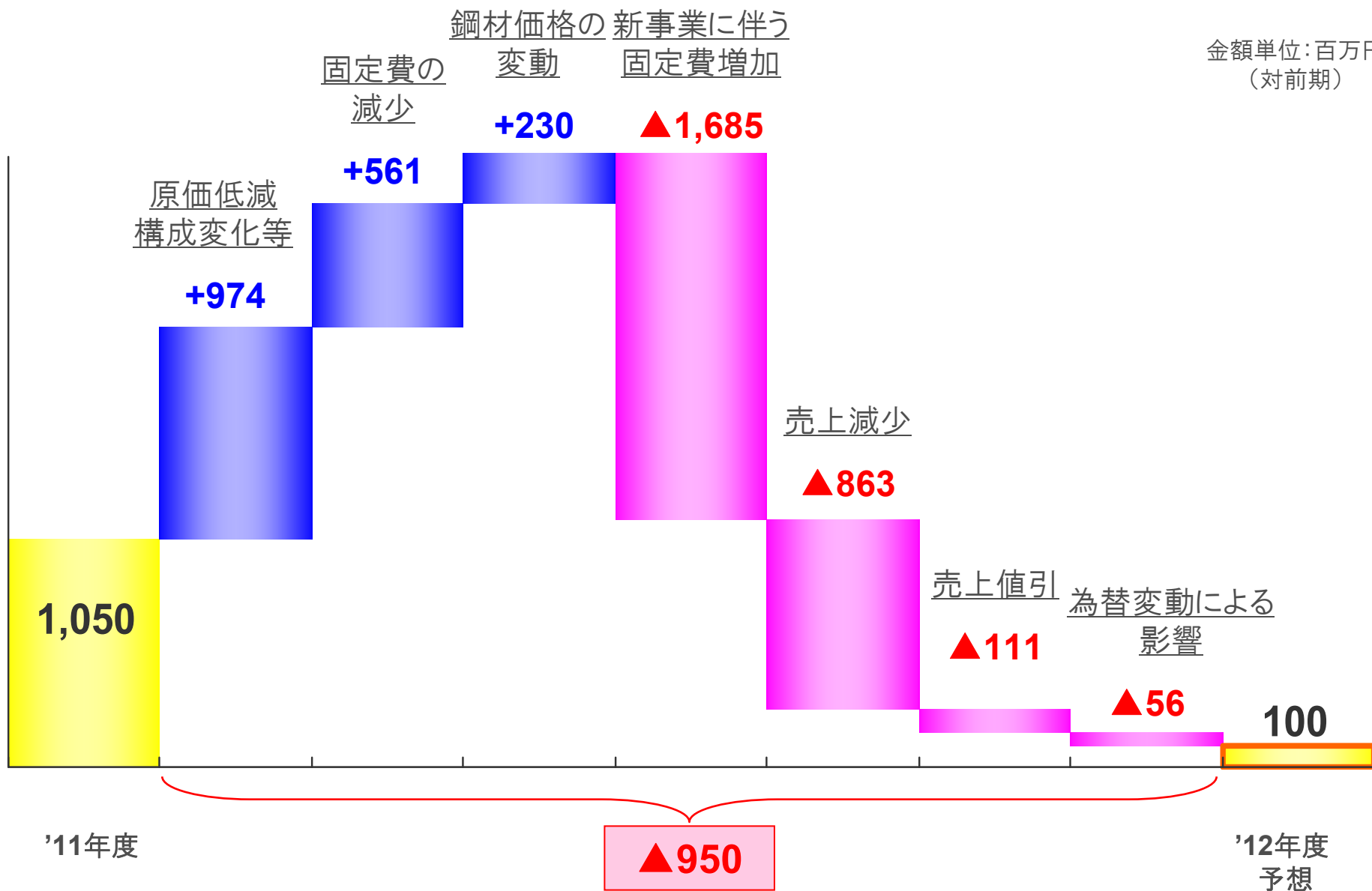
# 業績見通し(2)

(金額単位:百万円)

	'11年度			'12年度			前期比	
	4-9(実績)	10-3(実績)	通期(実績)	4-9(実績)	10-3(計画)	通期(計画)	増減額	比率
電子部品	825	1,077	1,903	1,715	<b>1,784</b>	<b>3,500</b>	1,596	183.9%
電子機器	119	95	214	38	<b>261</b>	<b>300</b>	85	140.1%
生産器材	878	789	1,668	922	<b>1,877</b>	<b>2,800</b>	1,131	167.8%
設備投資	1,823	1,962	3,785	2,677	<b>3,922</b>	<b>6,600</b>	2,814	174.3%
電子部品	742	747	1,489	641	<b>758</b>	<b>1,400</b>	▲89	94.0%
電子機器	151	157	308	135	<b>164</b>	<b>300</b>	▲8	97.1%
生産器材	822	846	1,669	724	<b>775</b>	<b>1,500</b>	▲169	89.9%
減価償却費	1,716	1,751	3,467	1,501	<b>1,698</b>	<b>3,200</b>	▲267	92.3%
電子部品	626	521	1,147	759	<b>640</b>	<b>1,400</b>	252	122.0%
電子機器	185	203	389	165	<b>184</b>	<b>350</b>	▲39	89.8%
生産器材	186	201	387	188	<b>211</b>	<b>400</b>	12	103.1%
研究開発費	998	926	1,925	1,112	<b>1,037</b>	<b>2,150</b>	224	111.7%
国内	1,551人	1,542人	1,542人	1,609人	<b>1,612人</b>	<b>1,612人</b>	70人	
海外	4,081人	3,974人	3,974人	4,031人	<b>4,125人</b>	<b>4,125人</b>	151人	
人 員	5,632人	5,516人	5,516人	5,640人	<b>5,737人</b>	<b>5,737人</b>	221人	

# 業績見通し(3)営業利益増減分析

金額単位：百万円  
(対前期)



## 注意事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
2. 本資料に記載されている金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。